

野村いくよの活動日誌 (抜粋)

おもな活動を記載しています / Facebookもやっています

野村いくよ公式ホームページ URL:nomura-ikuyo.com/

8月

- 7(水) フォトドキュメンタリー「鉛筆と銃」上映と長倉洋海のトーク 中央図書館平和資料室では、同時に「小さなともだち」と題した写真家・長倉洋海の写真展も開催されていました。子どもたちの笑顔が素敵でした。
- 9(金) 六甲ウィメンズハウス(女性のシェアハウス)視察研修
- 23(金) オンライン学習会「大阪・グリ下に集まる若者たちの現状」認定NPO法人DxP
- 28(水) 教育子育て委員協議会

9月

- 2(月) 教育子育て委員協議会 所管事務調査(アドボカシー・子どもの権利)
- 4(水) 枚方市敬老のつどい
- 6(金) 枚方市教組教研全体会「愛着障害と発達障害の理解と支援」講師：米澤好史さん(和歌山大学教授)
- 20(金) 立憲民主党大阪府連 政策制度意見交換会
- 21(土) 3ライオンズクラブ合同 平和ポスター作品展 表彰式 枚方中の時の教え子が娘さんの受賞に来て、懐かしい出会いがありました。
- 23(月) 立憲民主党代表選 東京プリンスホテル 大阪府連代議員として1票を投じました。
- 30(月) 立憲民主党大阪府連ジェンダー平等推進委員会定例会議 オンライン

10月

- 2(水) 連合大阪北河内地域政策・政治フォーラム議員団会議 2025年度 政策・制度予算に対する要請について意見交換を行いました。
- 4(金) 枚方市人権まちづくり協会現地研修 船松人権歴史館・堺市立平和と人権資料館 初めに聴く人にとってもわかりやすく説明されて、部落差別の歴史や実態について学びなおすことができました。枚方にも堺市立平和と人権資料館のように、平和・人権・環境について学ぶ場(資料館)があれば、と思いました。
- 10(木) 緊急議会(衆議院解散総選挙に係わる費用の補正予算案件) 枚方市追悼式
- 15(火) 第50回衆議院総選挙公示 立憲民主党から第6区で候補した福岡ヨコさんの事務所に入り、第10区尾辻さんの応援も。11区に候補者を立てることができなかったのが残念でした。
- 27(日) 衆議院総選挙投票日 全国的には立憲民主党の国会議員が増え、与党の過半数割れとなりました。大阪では、森山代表と尾辻さんが比例で復活当選することができました!
- 31(木) 第2回枚方京田辺環境施設組合議会幹事会

11月

- 2(土) JR西労議員団会議・第35回総会
- 3(日) 北大阪ハッキョ秋まつり 支える会総会には間に合いませんでしたが、子どもたちのパフォーマンスを楽しませていただきました。環境整備された



衆議院選挙

いい学校ですね。輝け憲法! おおさか総がかり集会 大阪市中央公会堂 講師: 清水雅彦さん・小川たまかさん



志免町研修 (11月6日)

- 5(火)~6(水) 教育子育て常任委員会 先進都市視察研修 福岡市「アドボカシーについて」 福岡市こども総合相談センターえがお館も見学。志免町「子どもの権利条例について」素晴らしいとりくみと歓迎に感動しました。
- 15(金) 北河内地区教組教育改革フォーラム 講演「伝えきれない沖縄 平和への想い」講師: 三上智恵さん(映画監督) 三上監督の沖縄に係わる5作品「標的の村」「戦場(いくさば)ぬ止(とどろ)み」「標的の島風(かじ)かたか」「沖縄スパイ戦史」「戦雲(いくさふむ)」5作品の紹介を通して、三上さんの強い思いがストレートに伝わってきました。しっかり受け止めたいです。
- 19(火) 第64回大阪府市議会議員研修会 講演「私のチャレンジ~ これまでも、これからも挑戦~」講師: 村尾信尚さん(関西学院大学教授)
- 22(金) 第2回枚方京田辺環境施設組合定例会
- 24(日) 第16回五常校区文化祭 第2部枚方市立第4中学校と府立香里ヶ丘高校の吹奏楽部の演奏を例年楽しみにしています。ディズニーメドレー良かったです。
- 25(月) 教育子育て委員協議会 枚方市教育振興基本計画の見直しについて、(仮称)枚方市こども計画(素案)について、枚方市支援教育充実審議会における検討状況については、気になる何点かに質問等を行いました。
- 26(火) 大阪府退女教学びの集い&親睦交流会 山王こどもセンター見学 学習会「むかしも今も必要な場所」講師: 田村幸恵さん(山王こどもセンター施設長) 交流会は、鯛よし百番
- 28(木) しおん会 秋の親睦研修会 大阪コリアタウン歴史資料館 3回目の歴史資料館ですが、その時のテーマで展示が変わっているので、何回でも訪れることができますよ。この時は、「歌留多と絵画でみる~いかいの物語~」でした。

12月

- 2(月) おおさかヒューマンライツ自治体議員の会第5回総会・記念講演「ふーどばんく活動と自治体との連携」講師: 小林道弘さん(ふーどばんくOSAKA理事)
- 21(土) 立憲民主党大阪府連 立憲アカデミーおおさか2024 第1回講座「立憲主義と民主主義」講師: 泉 健太前立憲民主党代表 街頭集会於京橋 立憲アカデミーおおさか2024は、2025年5月まで、第3土曜日の14:00~行われる予定です。
- 25(水) 講座「ありのままの自分が好きになる いのちのおはなし」じよさんしの社ふわり 対象五常小学校教員・保護者・地域向け(コミュニティ) 人権尊重を基盤とした性教育 包括的性教育の必要性に至るまでを丁寧に、そして教室での「はどめ規定」なしの性教育のデモンストレーションも行われました。広がってほしいですね。

2025年 1月

- 7(火) 北大阪商工会議所新年賀会 総合文化芸術センター
- 8(水) 連合大阪新春の集い マイドームおおさか
- 9(木) 枚方市商業連盟新春賀会 ヴィーゴ
- 12(日) 第35回とんど祭り 五常校区コミュニティ協議会
- 13(月) 第76回枚方市「はたちのつどい」第4中学校で参加
- 16(木) 議員研修会「地域公共交通とまちづくり」講師: 土井 勉さん
- 18(土)~19(日) 全国フェミニスト議員連盟 ウィンターセミナー in 愛知
- 20(月) スポーツ連研修会
- 22(水) 河北省議会議員研修会 門真ルミエールホール



一般質問 (12月16日)

野村いくよ 市政報告だより

No.36 2025.1.28

すべては子どもたちの今・未来のために...

昨年(2024年)は能登半島地震で始まり、多くの人が自然災害の影響を受けました。能登半島の復旧が遅々として進まないのは政府が責任を果たしていないからです。しかし第50回衆議院総選挙においてみなさんのお力添えで、与党の過半数割れという結果を導くことができ、臨時国会で能登の復旧復興のための補正予算を通すことができました。

残念ながら大阪は黄緑一色になってしまいました。「多様性を誇りに、分かち合うことを力に、支え合うことを安心に」を実感できる政治をめざして、前に進んでいきたいと思っています。

今年(2025年)は7月に参議院選挙があり、水岡俊一参議院議員の改選となります。与党の過半数割れも実現できるように尽力してまいります。ともに政治を変えましょう!

ロシアとウクライナ、ガザへのジェノサイド、難民問題等々、平和への道は険しいです。そのような中で、日本被団協のノーベル平和賞受賞は大変うれしいことであり「核と人類は共存しない」という理念を国際社会で改めて確認できました。高校生の平和大使の存在も未来に希望が持てます。

さて枚方市では、教育長が長らく不在でした。そのことが、市長への2回目の問責決議となりました。やっと12月議会において新教育長を承認することになりましたが、市役所移転条例の否決といい、結構緊張感のある議会運営となっています。

今期は、昨年に続き教育子育て常任委員会に所属しています。枚方市支援教育充実審議会が開かれて2年目になり「ともに学び、ともに育つ」の方針は変わらない。小学校のダブルカウンセラーも継続する」との中間報告がありました。学校教育・現場も変わりつつあります。子どもを真ん中に、教職員にとって安心して働きやすい職場環境を引き続き求めてまいります。

今年(2025年)は敗戦後80年。平和も民主主義もあきらめず、政治の場にいる私はその役割を果たすべく、皆さんとともに着実な歩みを進めてまいります。

本年もご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



女性シェアハウス (8月9日)



人権まちづくり 協会研修 (10月4日)



福岡市先進都市研修 (11月5~6日)

号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

2025 冬号
号外
立憲民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル7F
電話03-3595-9988
https://cdp-japan.jp/

9月定例会月議会一般質問 9/6~10/18

(決算特別委員会5日間あり)

以下の4点について質問し、意見・要望を述べました。

1 枚方市の戦争遺跡について

「枚方市平和（戦争遺跡）ガイド」の活用状況を確認。

「秋の市内をめぐる『戦争遺跡ツアー』を実施。春と秋に五常校区コミュニティ協議会との共催の妙見山煙突見学の実施」との答弁。

ほぼ毎回参加し、春の桜と眺望も楽しんでいます。しかし、足元の桜の木が老木であったり台風で倒れていたりで、桜の花を観ることができなくなっています。敷地は水道局管轄ですが、市として永久保存である煙突の周辺整備を要望しました。

また、以前は新任教員の研修に市内の戦争遺跡巡りがありましたが、今は実施されていません。平和教育を進める上では重要なことであり、ガイドマップを使用した研修を是非行うように求めました。

2 学校給食について

状況がよくない食器の交換について確認。

「新1年生に新しい食器で給食を開始、卒業までの6年間使用することで6年ごとの更新計画で毎年購入していたが、給食調理場など修繕費用が圧迫していて購入できていない現状がある」という答弁。

劣化した食器はなるべく早く交換するようにしているとのことだが、盛り付けられた食器そのものも含めて、見た目も味もおいしい給食でなければならないと考えます。新入生には新しい食器を用意し、おいしい給食をめざすために、市としての責任を果たすべきである、と意見を述べました。

3 学校の働き方改革について

「2024年度ダブルカウントができなかった学校はあるが、教員業務支援員の配置が全校規模に拡充した。教員業務支援に係わるアンケート結果では時間外勤務時間の縮減がされ、教職員の負担軽減につながっている。標準授業時数も教育課程の編成に係る工夫が進んでいる。ストレスチェックの枚方市の分析結果は、『仕事の裁量度』『上司や同僚からの支援』の数値は良い結果が出ている」との答弁。

現場の実態は本当にそうなのでしょうか。管理職の一存で働き方改革する学校、教育業務支援員を上手に活用できていない学校、教職員からの提案を受け入れない学校等があるように聞いています。年度途中の離職者も増えているのではないか、と感じています。

公立学校共済組合のストレスチェックデータ分析結果報告書によると、高ストレス者では、人間関係（同僚・上司）を挙げる者の割合が大幅に高くなっているため、これから

の働き方改革は、業務改善で時間の縮減だけではなく、信頼できる管理職、お互いサポートしあう良好な人間関係の構築が必要であり、管理職が良いリーダーとなり、支え合い、安心して働くことができる職場づくりが必須であると意見を述べました。

4 部活動の地域移行について

部活動数は、減少傾向にあるようですが、枚方市においての地域移行には課題等が多く、まだまだ時間がかかると認識しています。「地域移行の試行実施として、24年度は、1中学校の3クラブで土日いずれか1日に専門の指導者を派遣。指導や大会引率も担える部活動指導員を市で雇用し、学校に派遣する。従前からの部活動指導協力者も各学校に派遣することによって顧問教員の負担軽減を図っている。子どもたちのニーズに応えつつ、教員のサポート体制も並行して整えていく」との答弁。

私は、中学生の放課後がもっと自由であればよいと考えています。そのための環境をしっかりと整えていく、例えば、スポーツ可能な公園や多彩な文化・芸術的なメニューがある生涯学習市民センター等。庁内委員会で検討しているならば視野を広げて、子どもの最善の利益を求めて、部活動の地域移行の在り方を考えることを求めました。

12月定例会月議会一般質問 12/6~20

以下の4点について質問し、意見・要望を述べました。

1 子どもを守る条例について

「子どもを守る条例」が子どもの権利を謳い、市が子どもの権利を根付かせるとりくみをしているので、私は「子どもを守る条例」を「子どもの権利条例」として捉えることにしていました。視察研修で福岡県志免町の「子どもの権利条例」のとりくみを学び、妥協してはならないと思い、4年続けての質問となりました。

条例の一文「社会の決まりを守り、他者の権利を尊重し、他者を大切にすることを育むこと」普遍である人権尊重は、不変ではない社会の決まりを守りながらでないダメなことです。社会の決まりとは法律・条例だと私は理解しますが、答弁では「共生の相互尊重のルール」だそうです。4年続けて問うていますが、初めての見解でした。「共生の相互尊重のルール」って、子どもに関しては「子どもの権利条例」ではないのでしょうか。変えるべきものは変えていただき、「子どもを守る条例」が「子どもの権利条例」に近づくことを求めましたが、今は、「子どもを守る条例」を廃止して「子どもの権利条例」をつくることを要望したほうが良かったのではないかと反省しています。

2 教育振興基本計画について

24年3月に策定された新たな「枚方市教育大綱」等を踏まえた枚方市教育振興基本計画。これまで市長の教育大綱

の「生き抜く力」に対して意見を述べてきましたが、結局教育振興基本計画に反映されました。「生き抜く力」とは、新自由主義の社会では他者との競争に勝ち抜くイメージがあり、「生きる力」とは異なります。答弁は「他者とのかわりを持ちながら予測困難な社会を切り開く力であり、『生きる力』も同様の主旨で使用している」と。ただ、文科省も「生き抜く力」という言葉を使用しなくなっているので、あくまでも市長の教育大綱を反映しなければならないからだろう、と判断しています。

今回の質問では、教育振興基本計画にある「生き抜く力」と「自立を育む教育の充実」にある「自立」という言葉にもこだわりました。『「自立」の意味は、社会の中で自己実現していくという意味合いがある』という答弁で、私が求める「社会的自立」とは異なるものでした。私は、「生き抜く力」=「生きる力」ではない、「自立」は「社会的自立」を意味する、ことを教育委員会と共通認識を持ちたかったのですが、残念です。「ともに学び、ともに育ち」そして生き合うことで個人と社会のウェルビーイングの実現をめざしたい、と述べました。

他に教育振興基本計画には、「ともに学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進で、社会教育の果たす役割は大きい」とありますが、枚方市には社会教育部はありません。「生涯学習と社会教育を市全体で担う」とあるので、推進体制の確立を要望しました。

3 性の多様性を尊重する学校の環境づくりについて

学校におけるジェンダーの課題、性の多様性尊重のとりくみ等要望してきた結果、標準服の自由選択制、ジェンダーレス水着の推奨、体育の共習等々、学校の風景はずいぶん変わりました。子どもたちが自ら自分たちの望む安心な場所をつくっていくとりくみにも言及しました。

健康診断の下着の扱いに学校によって異なる状況があるようなので確認しました。「教育委員会は医師会と協議の上対応方針を決定し、小中学校に通知し、保護者にも学校を通じて知らせている。児童生徒からの相談内容を踏まえた個別対応も行いながら、適切な健康診断の実施にとり組んでいる」と答弁。様々な背景を持つ子どもたちがどのように感じ求めているのか、を優先し、安心して健康診断を受けることができるように更なるとりくみを求めました。

4 平和のとりくみについて

今年は、戦後80年を迎える年であります。昨年、日本原水爆被害者団体協議会（被団協）がノーベル平和賞を受賞したことを契機に、今一度平和の大切さを啓発する必要があります。今年も平和フォーラム、平和の燈火（あかり）を皮切りに、平和の発信にさらにとりくむことを確認しました。

禁野火薬庫の大爆発を経て、戦後に整備された陸上自衛隊祝園分屯地における弾薬庫が拡充整備される計画があります。祝園分屯地から枚方市域まで10キロと離れていません。また、禁野火薬庫の大爆発を経験した枚方市としては、市民の安全を守る観点から国へ説明を求めるなど声を上げるよう要望しました。

意見書の採択

過去に提案しても否決された内容も採択されるようになりました！

9月定例会月議会

- 持続可能な学校の実現等をめざす意見書
- 沖縄で相次ぐ米軍構成員等による女性への性的暴行事件に関する意見書
- 性暴力救援センター・大阪SACHICOの存続及び体制強化等を求める意見書

12月定例会月議会

- 再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書
- 選択的夫婦別姓制度の導入に向けた民法改正を求める意見書
- 核兵器禁止条約第3回締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書

11月12日～22日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。枚方市では、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんで「平和の鐘カリヨン（ヒラリーオン）をパープル・ライトアップしました。



パープル・ライトアップ (11月22日)

映画「戦雲」上映会のご案内

2025年「枚方市平和の日」にちなんで、今年
は映画「戦雲」の上映会を行います。

日時：2025年2月22日（土）
13:30開場 14:00開演
場所：ラポールひらかた 4階

詳細は同封チラシでご確認ください。



ご意見・ご質問がございましたら e-mail：194-nomura@mfv.biglobe.ne.jp（野村）までお寄せください。